

## 多目的屋内施設の整備について

現在、本市において検討を進めている多目的屋内施設の整備について、下記のとおり建設候補地として「豊橋公園」を選定し、県の財政支援も受けて施設整備に向けた基本計画の策定業務等を進めていくこととしました。これに伴い、関連予算を6月市議会定例会に上程します。

### 記

#### 1. 市場調査

令和4年1月より、交通アクセスや市場規模、市の負担がなるべく少なくなるような施設の建設・運営手法などの条件や、それらを満たす候補地、施設規模などの可能性について市場調査を実施しています（令和4年6月完了予定）。

#### 2. 市場調査における民間事業者へのヒアリング結果の概要

- ・ 事業に関して興味を持つ事業者が多数いる。
- ・ 新幹線などの交通インフラがあり、集客面において一定の可能性はある。
- ・ 豊橋の立地や近年の他都市の事例から、プロスポーツや音楽コンサートには5,000人規模の施設が妥当である。
- ・ 持続的に集客可能であるまちなかの立地が望ましい。
- ・ 公共交通機関のアクセス性は重要であり、駅から1km圏内が望ましい。
- ・ 収益性を鑑みて、多目的な利用ができる施設とすることが重要。
- ・ P F I 方式は参入しやすく、公的負担の軽減につながる可能性がある。

#### 3. 豊橋市新アリーナ建設の基本的な考え方

今回のヒアリング結果とこれまで本市が行ってきた検討結果から、建設に向けての基本的な考え方を以下のとおりとしました。

- ・ 整備予定地は「豊橋公園」とし、武道館など他の公共施設との集約・複合化も視野に入れた整備とします。
- ・ 市民利用のほかB1リーグをはじめとするプロスポーツや若者が魅力を感じるコンサート興行、コンベンション機能など多目的利用が可能な5,000人規模のアリーナを目指します。
- ・ スポーツ・エンタメで街に賑わいをもたらします。
- ・ 防災活動の拠点としての活用も想定した整備を行います。
- ・ 整備手法は、P F I 手法の「BT コンセッション方式」も視野に入れます。
- ・ 愛知県新体育館のサテライトとして位置づけ連携します。
- ・ スタートアップに対するインキュベーション機能等も視野に入れます。

（裏面へ続く）

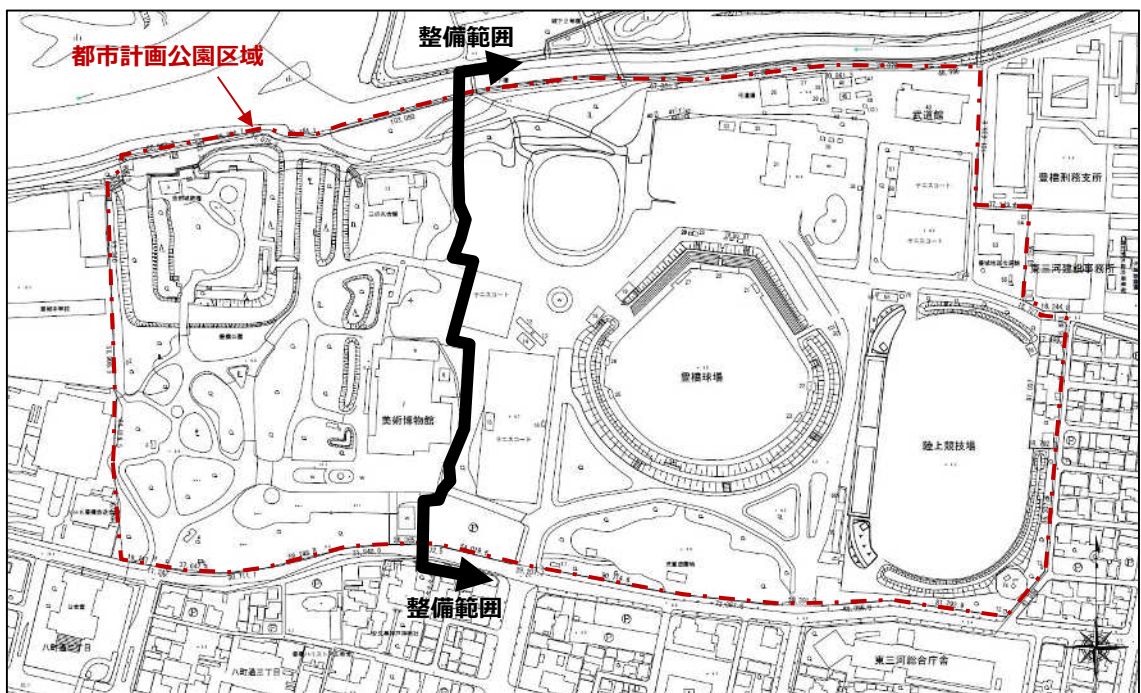
#### 4. 関連予算

- ・多目的屋内施設基本計画策定及び要求水準書等作成業務委託料  
55,000千円（県補助 55,000千円×1/2=27,500千円）（債務負担）

#### 5. 今後の予定

2022～2023年度	基本計画策定、公募資料作成
2023年度	事業者公募・選定
2024～2026年度	設計、建設
2026年度中	開業

#### 【参考】豊橋公園内の事業計画地



問合せ先 文化・スポーツ部 「スポーツのまち」づくり課  
課長補佐 鈴木（電話 51-2693）